



竹林

白河市立五箇中学校だより No 34

発行日 令和4年12月23日
発行責任者 校長 小林 敏史



2学期、無事終了しました ~ 第2学期終業式 ~

本日で2学期が終了します。今学期も大きな事故やけが等がなく、無事この日を迎えられたことを嬉しく思います。また、生徒一人一人が、それぞれの歩幅とスピードで着実に成長した姿を見れたことも大きな喜びです。これもひとえにご家族はもちろん、地域の方々の温かいご支援の賜と感謝申し上げます。

明日からいよいよ冬休みです。年末・年始は何かと慌ただしく過ぎていきますが、家族みんなで1年間の互いの頑張りを振り返りながら、新たな年への夢や希望を膨らませる、そんな素敵な時間を持っていたければと思います。

第2学期終業式 式辞 ※ 抜粋

さて、年末を迎えて今年1年を振り返ると、楽しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、悲しかったことなど、様々なことが思い出されます。そして、「来年こそは!」と考えます。実はここが大きな落とし穴があります。

あるアニメ作品の中にこんなセリフがあります。
「明日からがんばるんじゃない! 今日頑張るんだ。今日をがんばった者…今日がんばり始めた者のみに明日が来るんだよ」

今日を頑張った人、頑張りを始めた人は「明日が変わる」ということでしょうか。つまり頑張れた人は明日も、明後日も頑張りが続けることができる、その連続があってこそ、夢や目標をつかみ取ることができるという意味だと思います。

何かしら決意したときに「よし、明日から頑張るぞ!」と口にしたことはありませんか? 強く決意したもののやる気を出すのは難しいこともあります。また、頑張りたいのは山々でも、今すぐ頑張るのは結構疲れます。たまたま今日は都合が悪くて、頑張りたいけど頑張れないこともあるでしょうし、仮に始めても、中途半端に始めると、結果も中途半端になってしまうと考えがちです。そうすると「明日から始めるほうが気持ちの切り替えもできる」と考えてしまいます。

しかし「明日から頑張る」と言う人は、明日になっても頑張れないことが多いです。決意してから1日という時間が経っているのだから、気持ちも弱まっています。そうすると「考えが変わった。明日から頑張る」という同じセリフを言って先延ばしします。それが繰り返されて、1週間経っても1カ月経っても、状況は同じままということが多くあります。

「明日から頑張る」と言う人は、延々と同じセリフを繰り返し、いつまで経っても頑張れません。結局のところ、先延ばしする癖であり、本気になっていないことが多いです。先延ばしの癖があるかぎり、いつまで経っても物事に着手できません。

一方「今から頑張る!」という人は違います。やる気が出なくても、余計な先延ばしはしません。最短で行動する意識があるので、さっと重い腰を上げて、ひとまず行動に移します。今から頑張ることを行動の基本にして、中途半端な時間なら、中途半端なりにできることを頑張る、1ミリでも前に進もうとします。

余計な先延ばしをしないので、どんどん物事が前に進みます。だから「今から頑張る」と言う人は、今日も明日も頑張れるのです。さてあなたは、どちらの人間ですか。

大切なのは「今から頑張る」ということです。今すぐ頑張れないように思えても、本当にそうでしょうか。どうしても都合が悪いなら仕方ありませんが、本気になればできることも多いはずで、日付が変わるまで待つ必要はありません。「今から始めると区切りが悪い」と思いますが、区切りが悪くてもかまいません。夢を叶える人は、区切りなんて気にしません。区切りが悪くても、すぐ行動に移せる人が立派です。中途半端なら、中途半端なりにできることがあるはずで、始めることが難しいなら、準備くらいならできるでしょう。

「明日から頑張る」という言葉をNGワードにしましょう。「明日から頑張る」と言いたくなったら、ぐっとこらえて「今から頑張る」と言い直してみましょう。言葉には力があります。まして自分が発した言葉には「言った以上は・・・」という良い意味での責任が生まれます。この冬休み、先延ばしの癖を直して、「今から頑張る」という人になることを目指してみてください。それこそが皆さん一人一人の未来を変える一歩になるのではないのでしょうか。

令和4年12月23日 校長 小林 敏史

< 3学期 第1週の予定 >

9	月	● 成人の日
10	火	始業式 部活動中止日 ※11:20下校
11	水	B日課 実力テスト(3年生) Tタイム(スプリングコンテストプレテスト)
12	木	スプリングコンテスト(6校時) 諸会費納入日
13	金	週番引継会

いよいよスベコンです。合格目指して頑張らしましょう!



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

目標は、他人から与えられてはダメ。
目標は、いつも自分の中から
生まれてくるべきものなんだ。



~ タイガー・ウッズ(プロゴルファー)の言葉です。 ~